



やるきほんききさき 木佐木

神奈川県議会議員
日本共産党

2025.5.7
木佐木ただまさ news
発行：党横浜北東地区委員会
横浜市鶴見区潮田 3-147-6
TEL：045-511-1021

Profile
▶1984年山梨県出身
▶鶴見区馬場在住
▶神奈川大学法学部卒
▶よこはま健康友の会会長
▶横浜東民商顧問

平和と暮らしを考えるGW



県・横浜メーデーであいさつをするあさか由香と県・市議団

5.3 桜木町で行った憲法記念日宣伝

闘うメーデー、今年も横浜で！

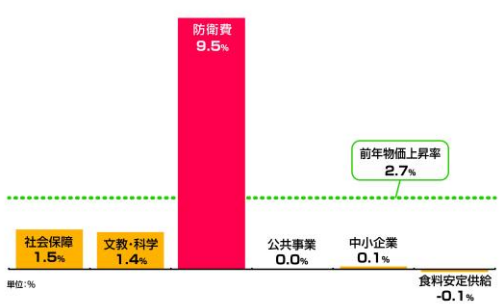
5月1日、沢渡公園で行われた第96回神奈川県・横浜メーデーに参加しました。

賃上げは物価上昇に追いつかず、特に医療や介護・保育・教育など、公的に賃金が決まる現場からは悲鳴があがっています。どんな時も労働者の粘り強い闘いが社会を前進させてきました。

今、必要なのは、コメなど物価高に苦しむ家計を救う「物価を超える大幅な賃上げ」と「消費税5%への緊急減税」です。

そのための予算は、かつてなく増えた今年の防衛費を、私たちの暮らしのために回すことで生まれます。

25年度予算案の主要経費別の前年度比伸び率



暮らしに予算を！政治にこの決断を強く迫りましょう。

改憲ではなく、憲法の完全履行で平和を

政府や一部政治家は、2015年の安保法制以降、「安全保障環境の激変」を理由に軍拡と憲法改正の動きを強めています。

しかし、近隣国の脅威に対抗するための軍事力増強は、他国の反応を招き、軍拡競争という「負のスパイラル」に陥る現実を直視すべきです。

そもそも、私たちは国家のために存在するのではなく、国家は憲法に基づき、個人の権利を保障し、国民一人一人の幸福実現に責任を負うべきです。

今日の改憲論者の主張には、この国家の本来の役割が見失われ、現実を見ない威勢の良さばかりが目立ちます。

憲法の理想を現実に合わせてしようとするのではなく、世界の平和から個人の幸せまで確かな道しるべを示す憲法の完全履行こそ、今政治が果たすべき責務だと考えます。

